



京都

労 福 協

No. 69
2021.1

一人は万人のために、万人は一人のために

謹 賀 新 年

京都労働者福祉協議会

会 長 廣 岡 和 晃



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

コロナ禍の中、京都労働者福祉協議会の運動推進に対しまして、日頃よりの絶大なるご支援に心より感謝申し上げます。

私たちは第64回定期総会にて、「連帯・共同で安心・共生の福祉社会をつくろう！」の大会スローガンを確認し、様々な社会問題に対する取り組みを進めて来ました。

世界中に広がる新型コロナウイルス感染症について、未だ収束が見えない中、雇用も経済も生活すべてに多大な影響が出ており、一日でも早い有効なワクチン開発等が出来、感染症以前の姿に戻れることを望みたいと思います。

また一方で、コロナ禍で見直された新たな生活様式等についても、アフターコロナを生きるために、運動に結びつけていきたいと思います。

コロナ禍により、格差社会が増大する

中、非正規雇用労働者や社会的弱者に大きなしわ寄せがきており、京都労働者福祉協議会として、更なる取り組みの強化が必要です。

若者を苦しめている奨学金返済問題では、国は給付型奨学金制度を創設し、京都府では「就労・奨学金返済一体型支援事業」を創設頂き、採用企業の拡大も進められています。労福協では、現状を把握するためのアンケート調査や奨学金に関する電話相談を受ける取組も進めてきました。社会の構造的な問題であり、雇用や貧困問題と一体のものとして、息の長い取組が必要だと思えます。

又、医療介護現場をはじめ、コロナ禍で安全安心の職場の確保は大きな社会問題であり、従来からの人的ボランティアに変え、医療用ガウンの支援や子供食堂食材支援等の取り組みも進めてきました。まだまだ支援が必要であり、地区労福協や関係団体と連携を図りながら活動を継続してまいります。

また労働者福祉事業と労働運動との連携強化について、改めて協同組合や労働

者福祉事業の価値や役割を再確認するとともに、労働組合と協同組合が「ともに運動する主体」としての関係を強化しつつ、共助の輪を地域に広げる活動も進めて行きます。

これまで様々な場面で会員組織の皆様のご支援の下、労働者福祉向上・福祉事業団体発展の一助となるよう取組を進めて来ました。今後も更に力強く活動を展開してまいります。

結びに2021年が皆様にとって素晴らしい年でありますように、そして希望の新年になりますことを心からご祈念申し上げますとともに、本年も皆様のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。頭のご挨拶といたします。



役 員

会 長 廣岡 和晃
副会長 原 敏之
副会長 柳生 剛志
副会長 橋元 信一
副会長 岸本 満

事務局長 篠原 輝雄
理 事 青山 勲
理 事 鍛冶 淳志
理 事 師玉憲治郎
理 事 松山 裕二

理 事 森本 勝
理 事 河口 隆洋
理 事 坂田 政春
理 事 福島 功
理 事 市田 佳之

理 事 高取 淳
理 事 藤原 節夫
理 事 小林 純
会計監査 佐伯 敏男
会計監査 山縣 哲也

会計監査 古谷 茂
参 (京都府) 鈴木 一弥
参 (京都市) 別府 正広

2020年度 京都労福協活動者会議 開催

10月29日（木）13時30分からANAクラウンプラザホテル京都に於て、加盟会員座別・各事業団体・各地区労福協より82名の参加をいただき、2020年度京都労福協活動者会議を開催しました。

コロナ禍の中、密を避けるため例年に比べ規模を縮小した開催となりましたが、多くのご参加をいただき、御礼申し上げます。

まず、講演に先立ち事業団体PRとして、近畿労働金庫営業推進部地域共生推進室上席専任役 中須雅治様、こくみん共済coop〈全労済〉京都推進本部次長 飯田淳一様にそれぞれの事業紹介をしていただきました。

会議では二つの講演を企画し、本年度につきましては、今まさに社会を震撼とさせている「新型コロナウイルス感染症」の拡大、近年多発する大型の自然災害に対して、人々の暮らしや安心・安全をいかに守っていくのかをテーマとし、経済・産業施策やSDGs

の視点を交えたご講演をいただきました。



一つ目の講演として、京都市よりレジリエント・シティ京都市統括監（京都市国際交流会館館長）藤田裕之様をお招きして、「常に進化するSDGs先進都市・京都～ポストコロナ社会を見据えて～」と題し、SDGsを通じた京都ならではの持続可能なまちづくりを進めていくための、レジリエンスの取り組みや考え方、コロナ禍に於ける生活のヒント等、貴重なお話を頂戴いたしました。



二つ目の講演では、京都府より副知事 山下晃正様をお招きし、「コロナ禍における経済・産業施策の展望」と題し、今



の京都経済の現状、京都に於けるコロナ対策や中小企業・労働者・求職者支援のご紹介と共に、withコロナ社会に対応する新しいビジネスづくりの取り組み等、今後の経済・産業施策の方向性をお示しいただきました。

ご講演いただきました、京都府副知事 山下晃正様、レジリエント・シティ京都市統括監 藤田裕之様をはじめ、ご参加いただきました各会員の皆様に、改めて御礼申し上げます。

令和3年度 自治体要請行動 実施

○京都府要請

12月3日（木）ラポール京都 4階会議室に於いて、連合京都・京都総評・近畿労働金庫・こくみん共済coop〈全労済〉・（公財）京都労働者総合会館・（公社）京都勤労者学園の代表者にご参加いただき、京都労福協と各事業団体の令和3年度要請書を京都府に提出致しました。京都府からは、商工労働観光部副部長 河島幸一様、商工労働観光部 人材確保・労働雇用政策課課長 石塚健一様をはじめとする方々にご出席いただき、京都労福協・各事業団体より要請の趣旨説明を行い、京都府の考え方について説明を受けました。



○京都市要請

11月13日（金）職員会館 かもがわに於いて、連合京都・京都総評・近畿労働金庫・こくみん共済coop〈全労済〉・（公財）京都労働者総合会館・（公社）京都勤労者学園・南地区労福協・伏見地区労福協の代表者にご参加いただき、令和3年度要請書を京都市に提出致しました。京都市からは、文化市民局長 別府正広様、文化市民局 共生社会推進室 真のワーク・ライフ・バランス推進・働き方改革担当部長 原真弓様をはじめとする方々にご出席いただき、要請の趣旨説明の後、京都市より考え方について説明を受けました。



○南山城地域要請

10月19日（月）10：30～
宇治市産業会館

対象自治体：宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・木津川市・宇治田原町・久御山町・井手町・精華町・和束町・笠置町・南山城村

○中丹地域要請

11月4日（水）10：00～
舞鶴勤労者福祉センター

対象自治体：舞鶴市・綾部市・福知山市

○口丹地域要請

11月9日（月）10：00～
近畿労金亀岡支店

対象自治体：亀岡市・南丹市・京丹波町

○乙訓地域要請

11月18日（水）10：00～
近畿労金長岡支店

対象自治体：長岡京市・向日市・大山崎町

○丹後・宮津地域要請

11月24日（火）14：00～

与謝野町 生涯学習センター知遊館

対象自治体：宮津市・京丹後市・与謝野町・伊根町

中 丹 地 域

2020年11月4日（水）10：00より、「中丹地域自治体懇談会」を舞鶴市勤労者福祉センター内にて開催しました。

舞鶴・福知山・綾部各地区協議会役員と各自治体関係者のご出席のもと、自治体要請について会議が行われる。今年度当番の舞鶴地区長柄理事長が進行役を務め開始しました。

開会の挨拶（京都労働者福祉協議会 事務局長 篠原輝雄氏）後、自治体代表（京都府中丹広域振興局 農林商工部農商工連携・推進課参事 山口 悟様）ご挨拶の後、出席者の自己紹介を行い、以降各地区労福協・京都労福協及び各事業団体から自治体に対する要請行動を行った後、質疑応答・懇談に移り12：30閉会しました。



口 丹 地 区

口丹地区労働者福祉協議会は、2020年11月9日（月）10：00から近畿労働金庫亀岡支店2階会議室において、『令和3年度政策制度要請』を開催しました。俣野会長の挨拶で開会が宣言され、亀岡市、南丹市、京丹波町の2市1町の代表が集まり令和3年度の政策制度要請を実施しました。口丹労福協、京都労福協、こくみん共済coop、近畿労働金庫京都地区本部の団体より要請書として各市町に提出をしました。

口丹労福協としては、勤労者の働く環境の整備、子育て支援の充実、高齢者介護の負担軽減、自主福祉団体強化に向けた支援の4項目について説明を実施し意見交換が出来ました。



乙 訓 地 区

2020年11月18日（水）近畿労働金庫長岡支店会議室において、乙訓地区「自治体・労福協懇談会」を開催しました。京都労福協・労働金庫・こくみん共済coopの代表者にご参加いただき、令和3年度要請書を長岡京市・向日市・大山崎町へ提出しました。

長岡京市からは健康福祉部社会福祉課長 田端様、向日市からは市民サービス部地域福祉課 紺野様、大山崎町からは環境事業部経済環境課長 沖様をはじめとする自治体代表者の方々にに対し、小林会長から要請書の趣旨説明を行い、その後、それぞれの自治体より要請内容の受け止めについて説明を受け、意見交換を行いました。

丹 後 ・ 宮 津 地 区

11月24日、与謝野町・知遊館において、丹後・宮津労福協自治体懇談会を行いました。当日は、京都府丹後広域振興局、京丹後市、宮津市、与謝野町、伊根町のご担当者様、京都労福協・篠原事務局長、近畿労働金庫宮津出張所・池田所長、こくみん共済coop・河島課長にご出席いただきました。

丹後・宮津労福協から、地域での雇用の場の確保や労働環境の整備、民間・公務で働く非正規労働者の処遇改善、障がい者福祉・高齢化福祉の充実、救急医療体制の整備、災害に強いまちづくりと災害弱者への支援、奨学金問題への対策、地域循環型経済への支援などについて要請、京都労福協からは府内で共通する課題について要請、事業団体からもそれぞれ要望を行い、行政課から要請事項に対する回答をいただいた後、懇談を行いました。

特に今回は、新型コロナウイルスに関わって、地域経済、生活困窮者への対策、行政の相談窓口、コロナ禍における災害時の避難所のあり方、北部の医療体制などについて意見が交わされ、有意義な懇談会となりました。



綾部勤労者福祉協議会 社会貢献活動



10月24日（土）、綾部市および水源の里・市志より協力を依頼され、昨年度活動した地区でスイセン球根植栽作業の社会貢献活動を実施しました。

急な募集にも関わらず、会員・家族も含め11名参加。自治会の方の指導により、スイセン球根植栽作業を2時間行いました。

田植えの要領で綱を張り、綱の印一列15cm間隔で30cmずつ移動し、手で球根を植えるという慣れない作業に、「腰痛、筋肉痛が心配」など声が出ながらも、ワイワイ楽しく賑やかな時間を過ごしました。

今回2回目となる水源の里・市志での社会貢献活動。少子高齢化、過疎化の進む地区での活動については大変歓迎されており、今後も地域に根差した社会貢献活動を実施していきたいと思っています。

尚、今回作業した「スイセンとヒガンバナの丘」は、来春にはきれいな花を咲かせると期待しております。今回参加された方のみならず、みなさん是非お花見にお越しください。

口丹地区労働者福祉協議会 『第27回 ふれ愛フェスタ』

口丹地区労働者福祉協議会は、2020年11月3日（火）に、『第27回 ふれ愛フェスタ』を開催しました。今回は滋賀県にある『滋賀農業公園 ブルーメの丘』へ行ってきました。現地に着後、参加者全員で集合写真を撮影、お昼はバーベキューでお腹を満たして頂き、食事後はクラフト体験のキーホルダー作りをされる方、自由行動として大型アスレチックで遊ばれる方、それぞれ楽しんで頂きました。毎年恒例となった大抽選会では今年も盛り上がり楽しんで頂きました。コロナ禍での開催となり、マスク着用、消毒の実施など、いつもとは違った開催にはなりましたが、皆さん楽しんでいただきました。



綾部勤労者福祉協議会 勤労者セミナー



11月6日（金）、『勤労者セミナー』を、綾部市市民センター研修室にて開催しました。コロナ禍の中でのセミナー開催となり、参加人員も心配しておりましたが、当日は34名参加。昨年に引き続き、武田由利子様を講師に迎え、メンタルヘルス講座の第二段「対人関係のストレスを減らす 関係がうまくコミュニケーション方法」についてご講演いただきました。

前は、ストレスの認識・対処方法についてのご講演でしたが、今回はアサーション方法を使い、対人関係がうまくいき、疲れのない人生を送るコミュニケーション方法についてご講義いただきました。相手に信頼感を与え納得させる話し方について、ペアを組んでワークも取り入れた講義で、皆さん楽しく学習できました。

今後、この学習が生かされ、職場や家庭で実践できれば、人間関係が今以上にうまくいくのではないのでしょうか。

参加者からは、「次回も武田先生にメンタルヘルスについて受講したい」など、昨年同様大変好評をいただき、終えることが出来ました。

今回はメンタルヘルスの第三段「傾聴術」についてのセミナーを計画いたします。次回も多数の参加をお待ちしております。

（一財）舞鶴勤労者福祉協議会 【第4回 健康講座】

（一財）舞鶴勤労者福祉協議会では、2020年11月14日（土）14：00～16：00・舞鶴市勤労者福祉センターホールにおいて、今年は「新型コロナウイルス感染防止対策」にて、自宅待機を余儀なくされる生活が続く運動不足の方等を対象に、伊藤清弘先生（理学療法士）による健康講座を開催しました。ソーシャルディスタンスを保つために人数制限（定員20人）をし、クラスター対策のため、参加者の把握にご協力をお願いし、コロナ対策への万全を期して開催しました。

今年のテーマは、「コロナ時代のカラダほぐし術・けんこう体操」～室内で楽しく身体を動かしましょう～と題し、①前回のやさしい、健康と運動「筋肉は裏切らない」の講演後、②「けんこう体操」を実際にやってみましょうと、簡単な運動及び体操レッスンにて前半終了。休憩（換気）時間を設けて後半は、③「コロナ時代のカラダほぐし術」を指導していただきました。

前後半各1時間程度の講座ではありましたが、参加された方々からは、好評得られた内容でした。



南山城地区労働者福祉協議会

■11月5日（木） 城陽市：京都フードセンター（青谷学園）
「子ども食堂支援」 新米240kg

『子ども食堂支援』

去る11月5日（木）、南山城地区労福協独自の社会貢献活動「子ども食堂支援」として、城陽市の京都フードセンター（青谷学園）へ新米をお届けしました。

当日は南山城地区労福協より山本会長、鶴ノ口事務局長、中西事務局次長の3名が参加し、営農クラブ「槇の島」より購入した新米240kgを届けました。「京都フードセンター」ではきょうと高齢者・障害者支援センターの若井様、同きょうとフードセンターの森様にご対応いただき、山本会長から新米入りの袋が手渡されました。

今後、京都フードセンターにて食材マッチングを行っていただき、南山城地域9か所の子ども食堂（宇治市2、城陽市2、八幡市1、京田辺市2、久御山町1、精華町1）に新米が届けられます。

「子ども食堂支援」は、営農クラブ「槇の島」が主催する地域の子供たち向けの食育イベント『田植え&稲刈り』に、南山城地区労福協も運営とイベント参加という形で参画し、収穫されたお米の一部を買い取り、京都フードセンターでマッチング

し南山城地域の子ども食堂へ新米を届けるという活動です。今年度は参画初年度ということと、新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から田植えと稲刈りのイベントは開催できませんでしたが、今後のイベント開催時は各自治体の皆さんにも、ぜひご参加いただきたいと思います。



(右) 山本敦会長
(中) 森達夫様（京都府社会福祉協議会福祉部きょうと高齢者・障害者生活支援センター きょうとフードセンター家計改善支援事業 担当）
(左) 若井康人様（京都府社会福祉協議会きょうと高齢者・障害者生活支援センター）

丹後地区労働者福祉協議会

■11月13日（金） 京丹後市 療用ガウン寄贈1,080枚

【社会的支援活動】

11月13日（金）に糸井会長・吉岡事務局長の2名にて、京丹後市経済緊急支援室を訪れ、吉田室長に、医療用ガウン（使い捨て防護服）1,080枚を京丹後市に寄贈しました。

吉田室長から『大変ありがたい、濃厚接触者調査でも医療用ガウンが必要であり、これから多く必要になると思われます。寄付して頂いたガウンは、医療機関へ配布し、医師会に選定をお願いしたいと思います。』と大変喜んでおられました。

また、今回はガウン1,080枚の提供しましたが、今後ガウンなどの必要な物資があれば、労福協に連絡して頂き、できる限りの支援をしていきたいと伝えました。



（一財）舞鶴勤労者福祉協議会

■11月19日（木） 舞鶴市 医療用ガウン寄贈1,080枚

【社会的支援活動】

11月19日（木）に理事長（長柄）・副理事長（木村）・事務局長（保田）の3役が舞鶴市役所を訪れ、多々見舞鶴市長に、医療用ガウン（使い捨て防護服）1,080枚を舞鶴市に寄贈しました。

京都労福協と地区労福協は、協働での取り組みとして、府下のコロナ対応に従事する医療従事者（勤労者）の安全と安心を確保することが重要な問題と考え、府下全域に、コロナ禍で収束の目途が立たず、第3波が心配され、社会・経済・雇用が混沌とした状況下で日々感染リスクとの戦い、従事されています医療現場で、感染リスクの低減を図るため衛生用品の提供を行い、医療従事者（勤労者）の多少でも手助けが出来ればと、有効活用されることを願いました。



乙訓地区労働者福祉協議会

■11月26日（木）長岡京市
 ■12月2日（水）大山崎町
 ■12月23日（水）向日市

医療用ガウン寄贈 各自治体360枚

【社会的支援活動】

乙訓地区労働者福祉協議会は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザとの同時流行に備え、11月26日に長岡京市役所において中小路市長へ、12月2日に大山崎町役場において前川町長へ、12月23日に向日市役所において安田市長へ、それぞれ小林会長より医療用ガウン360着を寄贈しました。寄贈した医療用ガウンは長岡京市、向日市、大山崎町を通じて新型コロナウイルス感染症等の治療にあたり奮闘されます医療従事者にご活用いただく予定です。



京都労福協・南地区労福協・伏見地区労福協

■12月3日（木）京都市 療用ガウン寄贈 1,080枚

【社会的支援活動】京都市 医療用ガウン贈呈式

12月3日京都労福協は、南地区労福協・伏見地区労福協とともに、京都市役所第一応接室に於て、「新型コロナウイルス感染症」と闘う医療従事者に役立てていただくため、門川大作京都市長に「医療用ガウン」1080枚を寄贈しました。

京都市から、門川大作市長、原真弓真のワーク・ライフ・バランス推進・働き方改革担当部長が出席され、京都労福協からは、廣岡和晃会長、篠原輝雄事務局長、地区労福協から、西田裕南地区労福協事務局長、大岡ひとみ伏見地区労福協副会長が出席しました。

廣岡会長は、「終息の兆しが見えない中、医療や介護などの現場でご苦労されている、働く仲間のために役立てていただければ。」と思いを伝え、門川市長に目録を手渡しました。

門川市長は「ありがとうございます。」と感謝の言葉を述べられ、廣岡会長に感謝状が贈られました。

京都労福協は、社会的支援活動の一環として、各地区労福協と合同による自治体を通じた医療関係機関に対しての支援活動を展開しているが、「コロナウイルス感染症」の拡大が、一日も早く終息し安心・安全な社会生活を送れることを願い、引き続き労働者福祉運動を推進してまいります。



綾部勤労者福祉協議会

■12月4日（金） 綾部市 医療用ガウン寄贈1,080枚

【社会的支援活動】

12月4日綾部市役所において、綾部勤労者福祉協議会は新型コロナウイルス感染症の第3波と叫ばれ感染が拡大している中、感染リスクの高い医療現場で働く人に感謝と応援の意を込めて医療用ガウン1080着の寄付をさせていただきました。

受領式は綾部市から山崎市長、大石福祉保健部長、十倉保険推進課長の出席のもと、前本会長より山崎市長へ医療用ガウンを手渡しました。働く場所は違えども、同じ地で働く勤労者として何か力になりたい思いから支援をさせてもらい、感染拡大の防止に少しでもお役に立てれば幸いです。

我々も日常の生活を送る上で、3密の回避や手洗いの徹底など、予防を心掛けた生活をする事で、新型コロナウイルスの感染拡大にストップをかけることができると考えております。このコロナ禍を、綾部の地で生活をする全員で乗り切れるよう頑張りたいと思います。



宮津地区労働者福祉協議会

■12月7日（月） 宮津市 医療用ガウン寄贈1,080枚

【社会的支援活動】

12月7日、宮津地区労福協は社会貢献活動として、医療従事者の新型コロナウイルス感染予防のための医療用ガウンの目録の贈呈式を宮津市役所で行いました。

贈呈式には、宮津地区労福協・藤原高広会長、藤原節夫事務局長、京都労福協・篠原輝雄事務局長が出席、藤原会長が城崎雅文市長に目録を手渡しました。

藤原会長は、「宮津地区労福協として、今回、宮津市様を通じて地域でコロナ対策に従事されております医療従事者の皆様への、ウイルス感染防止医療用ガウン1080枚の寄付という形で社会貢献をさせていただくこととなりました。宮津市様を通じて、医療用ガウンを与謝医師会様に寄付させていただくことになっております。

今後も、労働者だけでなく、地域や住民の皆さまへの社会貢献活動をしていきたいと考えております。行政の皆様におかれましても、われわれがご支援できること、お手伝いできることがございましたら、ご遠慮なくお申し出いただきたいと思います」と労福協活動への協力をお願いしました。

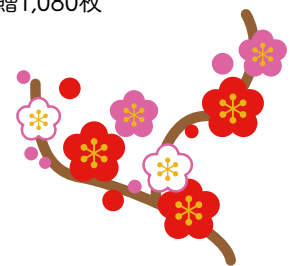


口丹地区労働者福祉協議会

■12月18日（金） 亀岡市 医療用ガウン寄贈1,080枚

【社会的支援活動】

12月18日、口丹地区労福協の俣野会長、前島事務局長、坂元事務局長は、京都労福協の篠原事務局長とともに亀岡市役所を訪れ、亀岡市長 桂川孝裕氏に医療用ガウン1,080着を寄贈。寄贈した医療用ガウンは、亀岡市を通じて、新型コロナウイルス感染症と戦う医療従事者への支援として、医療及び介護現場にお役立ていただく。



福知山地区労働者福祉協議会

■12月中 福知山市 児童館 支援

『児童館支援』

福知山地区労福協では、これまで社会貢献活動として、福知山市内の各児童館に「おにぎりチャレンジデー」の協賛を実施してまいりました。今年については、コロナ禍であることを踏まえ、お米等の食料の他、マスク・除菌液など新型コロナ対策関連の支援物資を送ることにしております。



2020年度 奨学金に関する全国一斉相談



2020年度 奨学金に関する全国一斉相談が、11月6日に実施されました。京都労福協では、当日10:00～20:00の時間帯に相談に取り組みました。ライフサポートセンター相談員3名と、つくし法律事務所 舟木浩弁護士の支援を受けて、5件の相談がありあました。その1例ですが、リーマンショックで就職がうまくいかず、返済が滞り、延滞金が発生した。その後何とか就職ができ、毎月

返済が続いているが、延滞金の利息が高いため、元金が減っていないケースなど、深刻なケースがありました。新たな給付型の奨学金の議論と同時に、すでに卒業し、返済が始まる人への有効な対策が必要だと感じました。



こくみん共済
coop



「たすけあいの輪をむすぶ」

こくみん共済 coop は、次のステージへ

こくみん共済〈全労済〉

全国労働者共済生活協同組合連合会 coop

公式キャラクター
ビットくん

たすけあいの輪をむすぶ

「こくみん共済 coop」は営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨に賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生活の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。

こくみん共済 coop〈全労済〉京都推進本部

（全京都勤労者共済生活協同組合）

HP: <https://www.zenrosai.coop/>




はたらくあなたへ、**笑顔**を届けに

近畿ろうきん

京都地区本部

TEL 075-801-7317

お問い合わせは、平日9時～17時でお願いします。
(祝日、12月31日～1月3日は除く)

働くうえで役に立つ知識・技能と教養を身につける総合学習施設

府市民教室受講生：2月3日(水)

京都労働学校秋期生：3月3日(水) 募集開始！

(英会話・パソコン教室など)

ラボール学園

(公益社団法人 京都勤労者学園)

ラボール京都3F 電話 075-801-5925









西院駅徒歩1分

労働者総合会館

大ホールと中小会議室
全14室

お気軽にご利用ください。

ラボール京都

公益財団法人
京都労働者総合会館

〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町30-2(四条御前)

TEL 075-801-5311

[http:// laborkyoto.jp/](http://laborkyoto.jp/)

京都の生協の連合体が京都府生協連です
誰もが安心してくらせる
地域・社会をめざして

京都府生活協同組合連合会

〒604-0857 京都市中京区烏丸通二条上る蒔絵屋町258番地
コープ御所南ビル4階
TEL.075-251-1551

事務機器・
車リース・
旅行のことなら

L ユニオントラベル京都

エル・ユニオン京都

京都府知事登録 第3-554号
全国旅行業協会（ANTA会員）

事務所所在地はラポール京都6階
（京都労福協内）

TEL 075-801-1501
FAX 075-802-4568

